

## 単独運転防止方式の概要

メーカー名	(株)三和洋行	同様の方式を採用している形名	
形名	SH-SEV4000J1		

項目	受動的方式	能動的方式	
1. 方式名称	周波数変化率		
2. 基本原理	系統周波数の平均値を測定して、周波数変化率を検出してゲートブロックを行う。	インバーター出力電流を系統電圧に応じて進相と遅相の方向に変動させる。0.4Hz以上の周波数変化が生じた場合、単独運転と判断し、ゲートブロック及びリレーを開放する。	
3. 回路方式 または 制御フロー	約10秒間の周波数の平均と約0.2秒間の周波数平均値の差の絶対値が整定値以上の場合に検出する。	(1)無効電力変動幅 整定値の比率で無効電力を変動させる。  (2)無効電力変動周期 130ms  (3)単独運転判断基準 0.4Hz以上	
4. 整定範囲	検出時間:0.5秒以下 整定値:±0.2%、±0.3%、±0.4%、±0.5%	出荷時整定値 ±0.5% 検出時間:0.5秒～1秒 整定値:±5%、±6%、±7%、±8%	出荷時整定値 ±5%